

土木広報センター報告

オープンキャンパス土木学会2019 開催報告

コミュニケーション部門 土木広報センター
市民交流グループ 土木の魅力グループ

「オープンキャンパス土木学会」について

土木の魅力グループでは、2017年より始まった「オープンキャンパス土木学会」を2019年度も7月6日(土)に土木学会本部構内(東京都新宿区四谷)にて開催した。この催しは、土木学会構内を広く一般の方々にも開放し、学会関係者やその家族、学生など、多くの方々に来場いただき、さまざまな体験型プログラムや学会が保有する史料・映像などを通じて、「土木」への関心と理解を深めていただくという取り組みである。さらに、地域の方々や土木以外の仕事に従事する方々にもご来場いただき、地域・社会に開かれた学会として有する知見や資源を社会へ広く公開・公表していくことを目

「オープンキャンパス土木学会」のプログラムの紹介

指しているものである。

オープンキャンパスのプログラムを表1に示す。土木学会の各委員会のご協力のもと、さまざまなプログラムを開催しており、この中でいくつかの内容を紹介する。「どぼくふれあいフェスタ」では、写真1に示す模型による土砂災害の仕組み、橋梁やトンネルの構造、バックテストを用いた水質の簡易分析、防災をテーマにしたカードゲーム、VR体験など、土木関係者以外でもわかりやすい実験や体験を通して、土木を学んでいただいた。さらに、今年も、初の屋外での催しとして、法政大学の学生に協力いただき、写真2に示すコンクリートでのアクセサリ作り体験を

表1 オープンキャンパスプログラム

プログラム	担当委員会
かるたで土木のお勉強	コンサルタント委員会 市民交流研究小委員会
調べてみよう！くらしの水	
どぼくふれあいフェスタ 橋の強さ実験	地盤工学委員会 斜面工学研究小委員会
実験で学ぶ土砂災害	
アーチ橋模型	構造工学委員会
重ねはり	
トンネル実験	トンネル工学委員会 技術交流部会
ポケドボカードゲーム	企画委員会 若手パワーアップ小委員会
VRで現場へGo!	
コンクリートでアクセサリ	土木広報センター、法政大学
どぼくシアター	土木広報センター、図書館・情報室
どぼくテラス	土木広報センター、出版事業課
どぼく七夕まつり	土木広報センター、コンサルタント委員会 市民交流研究小委員会
どぼくクイズラリー	土木広報センター
1964 東京オリンピック	土木広報センター

開催した。

また、今年も、2020年のオリンピッククイヤーを前に、企画展「1964 東京オリンピック」を開催し、1964年当時の雑誌や映像、東京オリンピックを機に整備された東海道新幹線をはじめとする「土木コレクション」および、土木図書館所蔵の貴重品の展示を行った。



写真1 実験で学ぶ土砂災害



写真2 コンクリートでのアクセサリ作り体験

「どぼくシアター」では、過去の土木学会映画コンクール受賞作品より土木について学んでいただくことを目的として、表2に示す映画を上映した。

また、「どぼくテラス」では、写真3に示す合成写真による記念撮影コーナーを設けるなど、滞在時間を延長し、大人から子どもまで楽しんでいただけるような仕組

みとした。

「オープンキャンパス土木学会」のアンケート結果と来年度に向けて

来場者にはアンケートにご協力いただいた。アンケート結果を図1に示す。自由意見では、大人も子どもも楽しんでいた、興味趣旨のとおり、土木に対する興味を持ってもらえたと感じられるアンケート結果となった。また、来場のきっかけとしては、例年通り「通りがかり」が最も多く、地域の方々への学会アピールに貢献するとともに、近隣小学校（4校）へ



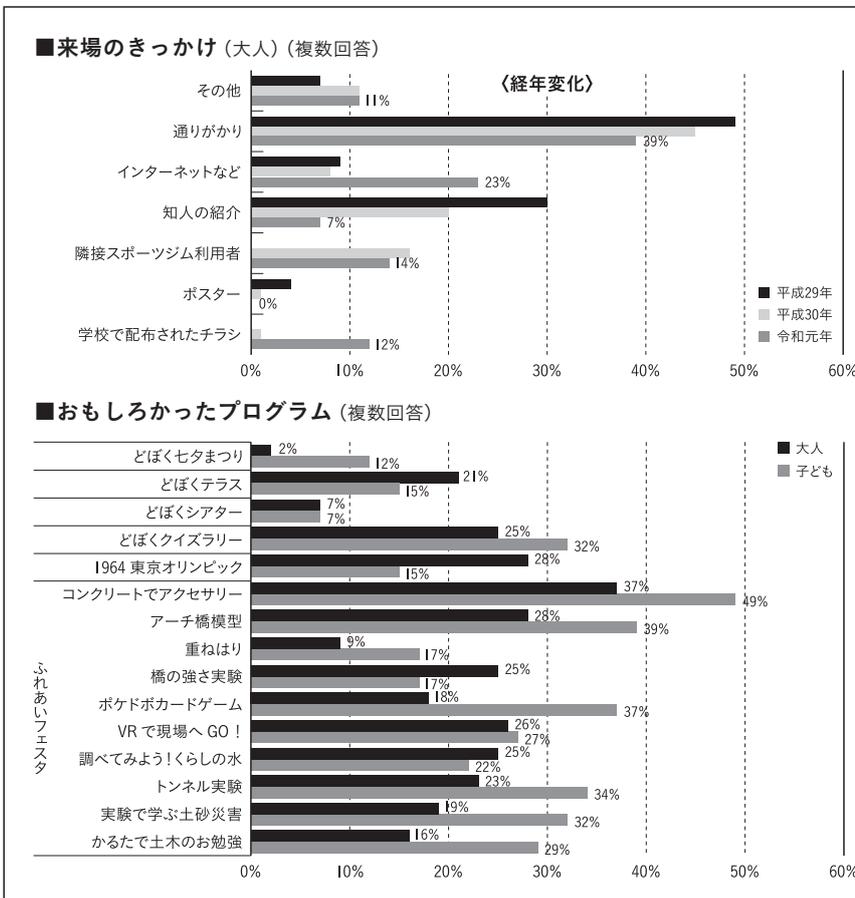
写真3 記念撮影コーナー

表2 どぼくシアタープログラム

シアター名	受賞年度/受賞回数 受賞名
日比谷線建設記録 銀座の地下を掘る	1964年度/第1回 最優秀賞
余部橋りょう さらなる100年へ	2010年度/第24回 最優秀賞
東日本大震災、現場の戦い～すべては被災地のために～	2012年度/第25回 最優秀賞
広域的なネットワークの形成に向けて 都市高速鉄道東京 急行電鉄東横線(渋谷～代官山駅間) 地下化事業の概要	2014年度/第26回 優秀賞
夢は世界を駆けめぐる～海外技術協力のバイオニア～	2014年度/第26回 最優秀賞
未来に向けて～防災を考える～《釜石の出来事》	2016年度/第27回 最優秀賞
復興の道しるべ～三陸鉄道北リアス線震災復旧工事～	2018年度/第28回 最優秀賞

のチャシ配布、土木学会Facebookでの案内等の広報活動の効果か、「学校で配布されたチャシ」「インターネットなど」が飛躍的に増加した。来場者数は283名と、昨年度比138%の増加を達成することができた。2020年度はさらなる来場者数の増加を目指し、広報活動をさらに強化して効果的な情報発信を行うとともに、プログラムの刷新や開催時間の延長等も考慮し、より魅力的なものにしたいと考える。

皆さまには、来年度のオープンキャンパスに参加および広報いただけると幸いです。



《自由意見(大人)》

- 未知の世界なので、とてもおもしろかったです。
- 子どもも楽しめる土木関連イベントとして貴重ですし、大人も勉強になりました。今後も土木について理解を深めることができるイベントを楽しみにしております。
- 子どもでもわかりやすい実験、展示。大人も子どもも夢中になってしまいました。
- 土木シアターで東日本大震災での土木関係者のご苦労ご苦心を見せていただきました。とても感動いたしました。お役人・民間の土木技師・作業員すべてヒーローそれがよかったです。
- 土木は人を守るものであり人の生活を豊かにしてくれるもの、それになう皆さんを心から尊敬するとともに感謝しております。
- とても楽しかったです。コンクリート練る体験(アクセサリー)もとてもよかったです。子どもも楽しめました。年1回よりももう少し増えたらうれしい。

《自由意見(子ども)》

- どぼくは今まで知らなかったけれど、このイベントに来てよかったと思った。
- どぼくクイズラリーが楽しかったです。土木に興味を持ち、初めて来てドキドキしたけれど、わかりやすく教えてくれてうれしかったです。もっと土木について調べてみたいという気持ちを持つことができました。
- 災害があると聞いたので、どうしたらいいのか知れたのでやってみました。
- 来年もやってほしいです。

図1 来場者へのアンケート結果